



2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月10日
東

上場会社名 株式会社ウエストホールディングス 上場取引所
 コード番号 1407 URL http://www.west-gr.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 栄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 椎葉 栄次 (TEL) 03-5358-5757
 四半期報告書提出予定日 2019年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績 (2018年9月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	43,614	30.4	3,061	86.4	2,735	110.1	1,785	133.4
2018年8月期第3四半期	33,434	55.2	1,642	48.8	1,301	59.5	764	47.1

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 1,728百万円 (124.6%) 2018年8月期第3四半期 769百万円 (42.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	70.59	—
2018年8月期第3四半期	30.24	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	75,439	16,661	22.1
2018年8月期	73,796	15,929	21.6

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 16,645百万円 2018年8月期 15,913百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,420	24.6	5,739	15.4	5,239	15.0	3,405	27.7	134.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年8月期3Q	27,235,200株	2018年8月期	27,235,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年8月期3Q	2,025,670株	2018年8月期	1,939,938株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年8月期3Q	25,292,502株	2018年8月期3Q	25,295,263株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、米中貿易摩擦の拡大など先行き不透明感があるものの緩やかな景気回復が続きました。

このような環境の中、当社グループは、ESG経営推進による企業価値の向上、太陽光発電の新たな領域への進出、エスコ方式による太陽光事業の東南アジアマーケットシェアの拡大、「電気の自産自消」とIoTを使用した「省エネ」による環境価値の提供の4つの事業方針に基づき、地域の金融機関とのアライアンスを強化し、太陽光発電システムの材料調達・施工・販売・O&M（オペレーションアンドメンテナンス）、LED照明や空調設備による省エネ事業、電力小売事業などトータルエネルギーソリューション事業への展開を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は43,614百万円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益は3,061百万円（前年同四半期比86.4%増）、経常利益2,735百万円（前年同四半期比110.1%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益1,785百万円（前年同四半期比133.4%増）を計上いたしました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

産業用太陽光発電事業におきましては、ESG等の世界的な再生可能エネルギーへの取り組みも後押しし受注増加が見受けられました。メガソーラー事業におきましては、今後5年間のメガソーラープロジェクトについても230MWを超える施工計画を順次着手してまいります。総発電コストの削減に関しては、住宅用からメガソーラーに至るまで、世界全域から品質を維持した商材の調達と数多くの設置実績の経験値を活かしてトータルコストの低減を図ってまいりました。今後、FIT価格に左右されることが無いよう、総発電コストのより一層の削減を図りつつ、自家消費型モデル、ソーラーシェアリング型モデルの新たな構築を推進してまいります。

以上の結果、売上高は14,320百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業利益1,127百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対して、省エネのトータルサービスを提供し、省エネ効果によりお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。

このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたるストックビジネスであり、着実な施工実績の積み上げにより売上高及び営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高は1,208百万円（前年同四半期比36.4%増）、営業利益249百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）となりました。

③ 電力事業

電力の小売事業は、トータルエネルギーソリューション事業の一環として、太陽光発電システムと省エネ機器更新をセットにして提案し販売しております。新規受注については、企業向けの低圧需要家との契約を拡大しております。当第3四半期連結累計期間において、10,980件 730,000kW相当のお客様に電気を供給しております。原価においては電力会社や大手商社との相対取引を継続し、日本卸電力取引所の変動リスクを回避しております。自社売電事業については、約65MWの発電所を保有しており、将来の安定収入として売上高及び利益の源泉となる見込みであります。

以上の結果、売上高は27,385百万円（前年同四半期比64.1%増）、営業利益1,179百万円（前年同四半期は営業損失168百万円）となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総件数は1,101件（2019年5月末）と着実に増加しております。

以上の結果、売上高は877百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益245百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

⑤ その他

その他の売上高は1百万円（前年同四半期比18.7%減）、営業利益1百万円（前年同四半期比15.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,643百万円増加し、75,439百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比910百万円増加し58,778百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比732百万円増加し16,661百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、商品、販売用不動産及び未成工事支出金が6,071百万円増加し、現金及び預金が2,745百万円減少、受取手形及び売掛金、完成工事未収入金が2,034百万円減少したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、借入金が4,506百万円増加した一方、未払法人税等2,044百万円及び支払手形及び買掛金702百万円が減少したことによるものであります。

純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,785百万円を計上した一方、配当金の支払885百万円及び自己株式の増加110百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2018年10月12日付「2018年8月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,397	33,651
受取手形及び売掛金	8,542	7,221
リース債権	1,657	2,585
完成工事未収入金	2,093	1,380
商品	521	1,776
販売用不動産	698	2,108
未成工事支出金	5,637	9,044
原材料及び貯蔵品	11	2
その他	1,523	2,047
貸倒引当金	△165	△157
流動資産合計	56,917	59,661
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,367	9,786
その他(純額)	4,208	3,779
有形固定資産合計	14,576	13,566
無形固定資産		
169	169	167
投資その他の資産		
投資有価証券	437	381
長期貸付金	149	138
繰延税金資産	255	306
その他	1,328	1,270
貸倒引当金	△36	△51
投資その他の資産合計	2,133	2,044
固定資産合計	16,879	15,778
資産合計	73,796	75,439

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,944	4,241
工事未払金	988	781
1年内償還予定の社債	500	500
短期借入金	11,255	13,578
未払法人税等	2,044	—
完成工事補償引当金	583	614
その他	5,076	4,710
流動負債合計	25,392	24,426
固定負債		
社債	550	300
長期借入金	30,437	32,620
資産除去債務	610	617
繰延税金負債	363	363
その他	513	449
固定負債合計	32,475	34,351
負債合計	57,867	58,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	728	728
利益剰余金	14,673	15,573
自己株式	△1,542	△1,653
株主資本合計	15,879	16,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	△32
繰延ヘッジ損益	10	13
為替換算調整勘定	△1	△4
その他の包括利益累計額合計	33	△23
非支配株主持分	15	15
純資産合計	15,929	16,661
負債純資産合計	73,796	75,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	33,434	43,614
売上原価	27,051	35,984
売上総利益	6,383	7,630
販売費及び一般管理費	4,741	4,568
営業利益	1,642	3,061
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	3	4
その他	33	11
営業外収益合計	43	21
営業外費用		
支払利息	299	321
為替差損	25	—
持分法による投資損失	5	—
その他	54	26
営業外費用合計	383	347
経常利益	1,301	2,735
特別損失		
固定資産除却損	—	4
特別損失合計	—	4
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,301	2,730
匿名組合損益分配額	26	26
税金等調整前四半期純利益	1,275	2,704
法人税等	510	918
四半期純利益	764	1,785
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	764	1,785

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	764	1,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△56
繰延ヘッジ損益	1	3
為替換算調整勘定	△1	△3
その他の包括利益合計	5	△56
四半期包括利益	769	1,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769	1,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,278	885	16,686	581	33,432	2	33,434	—	33,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	—	4	204	228	—	228	△228	—
計	15,297	885	16,691	786	33,661	2	33,663	△228	33,434
セグメント利益又は損 失(△)	1,387	△19	△168	255	1,454	2	1,456	185	1,642

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額185百万円には、固定資産の未実現利益消去92百万円、本社費用の配賦差額92百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴うセグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,310	1,208	27,383	710	43,613	1	43,614	—	43,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	2	167	179	—	179	△179	—
計	14,320	1,208	27,385	877	43,792	1	43,793	△179	43,614
セグメント利益	1,127	249	1,179	245	2,800	1	2,802	258	3,061

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額258百万円には、固定資産の未実現利益消去93百万円、本社費用の配賦差額165百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。